



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月26日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所 名  
 コード番号 8190 URL http://www.super-yamanaka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部門長 (氏名)清水 泰晴 (TEL)052-937-9310  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月27日 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年3月21日~2020年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	51,261	6.7	1,476	561.4	1,556	446.2	920	531.8
2020年3月期第2四半期	48,059	△2.0	223	△25.2	285	△16.7	145	△37.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,217百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 15百万円 (△87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	48.06	—
2020年3月期第2四半期	7.61	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	39,993	16,202	40.5
2020年3月期	36,462	15,081	41.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 16,202百万円 2020年3月期 15,081百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月21日~2021年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定としております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	20,425,218株	2020年3月期	20,425,218株
2021年3月期2Q	1,270,577株	2020年3月期	1,270,491株
2021年3月期2Q	19,154,669株	2020年3月期2Q	19,154,807株

- (注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期2Q 108,300株、2020年3月期 108,300株)が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期2Q 108,300株、2020年3月期2Q 108,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞により、企業収益や雇用環境は大幅に悪化し、政府による緊急事態宣言の解除後は、徐々に回復の兆しがみられるものの、感染症の再拡大が懸念される中、厳しい経営環境が続いております。

食品小売業界におきましては、コロナ禍における不要不急の外出自粛やテレワークの拡大などによる内食需要・巣ごもり消費の高まりが売上を押し上げる要因となった一方で、個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費マインドの低下、節約志向の強まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、地域の皆様の食生活を支える生活インフラとしての役割を果たすべくお客様と従業員の安全と安心を最優先に「衛生管理基本方針」を制定し、衛生管理の徹底や店内におけるソーシャルディスタンスの確保、営業時間の見直しや販促方法の変更など感染症予防対策に取り組んでまいりました。

また、当社グループは、2022年の創業100周年を見据え、次の成長戦略に向けた基盤作りをすべく新たに企業理念を制定し、「顧客価値を創造する」という使命の実現に向けて、当社グループ一丸となって取り組んでおります。

商品政策では、家庭で楽しむ食事や家飲みなど新しい生活様式に対応し、“プチ贅沢”や“おいしさ”にこだわった商品の品揃えを強化するとともに、独自性の高いバイヤーいち押し商品やフランテ独自のこだわり商品の拡充に加え、新たに「Yamanakaスター」「Frante二つ星」「Frante三つ星」の三つのプライベートブランド商品を開発し、“ヤマナカ・フランテならでは商品”の拡販に取り組みしました。

販売政策では、毎週日曜日にお買い物されたグラッチェカード会員様へ翌週の月曜日から土曜日にご利用いただける「5%割引得々クーポン券」を新たに導入するなど、販促方法の見直しを図りました。

店舗政策では、地域ニーズに対応した品揃えの改善を図るため、赤岩フランテ館(愛知県豊橋市)、多治見フランテ(岐阜県多治見市)で陳列替えを実施するとともに、お客様のレジ待ち時間の短縮による利便性の向上やレジ業務の効率化を目的に二川店(愛知県豊橋市)など4店舗にセルフ精算レジを導入しました。

連結子会社のプレミアムサポート株式会社が運営する5店舗のスポーツクラブでは、緊急事態宣言期間中の臨時休業や休会者の増加により会費収入が減少するなど新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けておりますが、「ASTYオンラインレッスン」の開始や運動不足解消のための様々なプログラムの提供により、緊急事態宣言の解除後は、回復基調に転じております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は、コロナ禍における内食需要の高まりやお客様のまとめ買いによる客単価の上昇により既存店売上が前年同期比106.3%と伸長し、512億61百万円(前年同期比6.7%増)となりました。利益面では、売上高の増加に加え、商品ロス削減の取り組みによる粗利益率の改善により、営業利益は14億76百万円(前年同期比561.4%増)、経常利益は15億56百万円(前年同期比446.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億20百万円(前年同期比531.8%増)となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億30百万円増加し、399億93百万円となりました。これは主に現金及び預金が31億25百万円、投資有価証券が4億10百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ24億9百万円増加し、237億91百万円となりました。これは主に有利子負債が8億45百万円、未払法人税等が4億88百万円、買掛金が4億16百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ11億20百万円増加し、162億2百万円となりました。これは主に利益剰余金が8億24百万円、その他有価証券評価差額金が2億79百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月14日に公表したとおり、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として不透明な状況が継続するものと予想され、現時点では当社グループの業績を合理的に算定することが困難であるため、2021年3月期の連結業績予想につきましては引き続き未定とさせていただきます。今後の動向を見極めながら、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,529	6,655
売掛金	1,228	1,279
商品及び製品	2,550	2,459
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	48	77
その他	1,511	1,758
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,868	12,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,289	8,163
土地	9,584	9,608
その他(純額)	1,363	1,321
有形固定資産合計	19,237	19,093
無形固定資産		
借地権	331	322
ソフトウェア	301	302
その他	29	29
無形固定資産合計	661	654
投資その他の資産		
投資有価証券	2,422	2,832
差入保証金	4,849	4,799
繰延税金資産	67	32
その他	361	349
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	7,650	7,963
固定資産合計	27,549	27,710
繰延資産	44	52
資産合計	36,462	39,993

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,274	5,691
短期借入金	277	280
1年内償還予定の社債	1,240	1,260
1年内返済予定の長期借入金	1,374	1,996
未払費用	1,136	1,187
未払法人税等	155	643
賞与引当金	288	323
ポイント引当金	133	138
資産除去債務	10	10
その他	1,923	2,341
流動負債合計	11,813	13,872
固定負債		
社債	3,090	3,400
長期借入金	3,429	3,308
リース債務	287	291
繰延税金負債	-	133
役員株式給付引当金	45	45
退職給付に係る負債	442	328
長期預り保証金	828	832
資産除去債務	1,343	1,352
その他	101	224
固定負債合計	9,567	9,918
負債合計	21,381	23,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	5,858	6,683
自己株式	△1,962	△1,962
株主資本合計	14,655	15,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	913
退職給付に係る調整累計額	△207	△190
その他の包括利益累計額合計	426	723
純資産合計	15,081	16,202
負債純資産合計	36,462	39,993

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)
売上高	45,531	48,857
売上原価	34,108	35,996
売上総利益	11,422	12,860
営業収入	2,528	2,404
営業総利益	13,950	15,265
販売費及び一般管理費	13,727	13,789
営業利益	223	1,476
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	29	28
持分法による投資利益	7	6
情報提供料収入	25	25
その他	67	70
営業外収益合計	130	130
営業外費用		
支払利息	23	19
社債発行費償却	10	9
その他	34	20
営業外費用合計	68	50
経常利益	285	1,556
特別損失		
固定資産除却損	17	15
減損損失	102	-
臨時休業等による損失	-	50
特別損失合計	119	66
税金等調整前四半期純利益	165	1,490
法人税、住民税及び事業税	61	532
法人税等調整額	△41	37
法人税等合計	19	569
四半期純利益	145	920
親会社株主に帰属する四半期純利益	145	920

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
四半期純利益	145	920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149	279
退職給付に係る調整額	19	16
その他の包括利益合計	△129	296
四半期包括利益	15	1,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15	1,217
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	165	1,490
減価償却費	577	601
減損損失	102	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△55	△89
受取利息及び受取配当金	△29	△28
支払利息	23	19
持分法による投資損益(△は益)	△7	△6
固定資産除却損	17	15
売上債権の増減額(△は増加)	△101	△51
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70	62
仕入債務の増減額(△は減少)	521	416
未払費用の増減額(△は減少)	50	43
預り金の増減額(△は減少)	122	233
その他	62	466
小計	1,390	3,209
利息及び配当金の受取額	29	28
利息の支払額	△20	△10
法人税等の支払額	△13	△62
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,384	3,164
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7	-
定期預金の払戻による収入	11	3
有形固定資産の取得による支出	△858	△670
無形固定資産の取得による支出	△176	△88
差入保証金の差入による支出	△155	-
差入保証金の回収による収入	104	94
預り保証金の受入による収入	8	-
預り保証金の返還による支出	△6	△1
その他	△10	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,090	△677

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	3
長期借入れによる収入	1,500	1,200
長期借入金の返済による支出	△468	△698
社債の発行による収入	1,176	1,220
社債の償還による支出	△960	△920
リース債務の返済による支出	△57	△67
自己株式の取得による支出	-	0
配当金の支払額	△96	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,092	641
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,386	3,128
現金及び現金同等物の期首残高	3,332	3,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,718	6,590

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)及び当第2四半期連結累計期間  
(自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

1. 重要な設備投資

当社は、取締役会決議に基づき、2020年9月30日付で固定資産(土地)を取得いたしました。

(1) 取得の目的

当社の事業用不動産として取得するものです。

(2) 設備投資の概要

①所在地 愛知県名古屋市中村区

②敷地面積 13,821.72㎡

③取得価格 3,862百万円

(3) 取得の時期

取得日 2020年9月30日

2. 多額な資金の借入

当社は、上記固定資産購入資金として、2020年9月30日に資金の借入を実行しております。

(1) 借入先 株式会社三菱UFJ銀行

①借入金額 2,000百万円

②金利 固定金利

③借入実行日 2020年9月30日

④返済期限 2030年9月30日

⑤担保提供 土地及び建物

(2) 借入先 株式会社三井住友銀行

①借入金額 500百万円

②金利 固定金利

③借入実行日 2020年9月30日

④返済期限 2030年9月30日

⑤担保提供 土地及び建物

3. 多額な社債の発行

当社は、上記固定資産購入資金として、2020年9月30日に社債を発行しております。

第46回無担保社債(株式会社みずほ銀行保証付及び適格機関投資家限定)

①発行総額 1,000百万円

②発行価格 各社債の金額100円につき金100円

③金利 固定金利

④発行日 2020年9月30日

⑤償還期限 2030年9月30日

⑥担保提供 該当なし(なお、銀行保証に対して土地及び建物を担保提供しております。)